

No.	意見（原文ママ）	本市の考え方
1	「ユアテックダイバーシティスクエア」は、とても良い施設名称案だと思います。なぜなら、ダイバーシティは、市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会の実現を図る、という福祉プラザの設置目的と合致する言葉であり、スクエアは、福祉プラザがより地域に開かれていく様子が表現されている言葉だと考えるためです。今後、この施設名称案が定着していくのが楽しみです。	新たな施設愛称案「ユーマディアダイバーシティスクエア」は、提案者さまより、ダイバーシティの理念に加え、「多様な人が集まり、今後の仙台市の未来と一緒に考えられるオープンな広場のような施設を目指したい」という思いを込めご提案いただきました。施設愛称案のとおり、仙台市福祉プラザが幅広い市民の皆さまに親しまれ、気軽に集える交流の場となるよう取り組んでまいります。
2	福祉系の施設はネーミングライツの対象外という考え方自体が差別的だなあ、と思ってた。なので、今回仙台市がネーミングライツ募集に福祉プラザを出してきたこと、良いと思う。経営センスがあると思う。批判する人もいるだろうけど、持っている財産の価値を最大化することは正義です。夢スク賛成、応援してます。	仙台市福祉プラザは、「市民の世代を超えた交流及び相互理解を促進するとともに、民間社会福祉活動を支援することにより、市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会の実現を図ること」を、施設条例の第一条に掲げて設立した複合施設であり、また、コンサートを行えるホールなど、不特定多数の方が利用する市民利用施設でもあることから、ネーミングライツの対象といたしました。 ネーミングライツ事業は、新たな収入を確保し、ネーミングライツ採用施設の管理運営等のための財源として有効活用するとともに、事業者の方々に企業PRや地域貢献などの場の提供を図るものです。 新たな施設愛称の決定後におきましても、仙台市福祉プラザが幅広い市民の皆さまに親しまれ、気軽に集える交流の場となるよう取り組んでまいります。
3	ネームが増えるのもいいけど、おひろどきのご飯屋が増えるといいな。福祉プラザにもあったけど、もっと栄えて！！	ネーミングライツ事業は、新たな収入を確保し、ネーミングライツ採用施設の管理運営等のための財源として有効活用するとともに、事業者の方々に企業PRや地域貢献などの場の提供を図るものです。 新たな愛称の決定後におきましても、仙台市福祉プラザが幅広い市民の皆さまに親しまれ、気軽に集える交流の場となるよう取り組んでまいります。
4	ユーマディアダイバーシティスクエア、とても良い愛称だと思います。ただの「福祉プラザ」だとなんの個性も味も素っ気もなくて、自治体っぽい地味さがあって興味なかったですけど、仙台にダイバーシティ的なまちの理念があるんだなって思いました。ホールとかあるんですね、イベントがあったら行ってみようかなって思いました。なんだかもっと良くなる気がするし、ぜひより良くして行ってほしい。さびれた町になってほしくないです。	新たな施設愛称を使用することで、より多くの市民の皆さまに愛され、より多様な市民のみなさまにご利用いただける施設となることを目指してまいります。 仙台市福祉プラザは、「市民の世代を超えた交流及び相互理解を促進するとともに、民間社会福祉活動を支援することにより、市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会の実現を図ること」を、施設条例の第一条に掲げて設立した複合施設でございます。様々な年代の多様な方々にご利用いただける開かれた施設として、仙台市福祉プラザが市民の皆さまに親しまれ、気軽に集える交流の場となるよう取り組んでまいります。

No.	意見（原文ママ）	本市の考え方
5	仙台市福祉プラザはそもそも提案型施設命名権になじまないと考えます。 仙台市の募集対象外施設一覧では、福祉サービスを実施している施設として、障害者福祉センター等が対象外施設となっています。 仙台市福祉プラザも同様に福祉サービスを実施しており、募集対象外施設となると思います。 仙台市福祉プラザの名称案が、ダイバーシティスクエアとなっていますが、仙台市福祉プラザの名称は残すべきと考えます。 仙台市福祉プラザの名称は長年使われてきており、広く浸透しています。今までと全く違った名称になることは多くの混乱をもたらすと思います	
6	仙台市は福祉サービス実施施設を命名権募集対象外としています。 仙台市福祉プラザはまさに福祉サービスを実施提供する拠点です。 また、命名権取得企業が変わるたびに施設名称の変更が予想されます。これは長年使用され、浸透し定着している名称が変わることで混乱が起こるだけでなく、主な利用者の状況からしても、その認知のために仙台国際センターと同様に名称の固定・定着が重要です。については提案型施設命名権募集対象施設から仙台市福祉プラザを除外するべきと考えます。	福祉サービスを実施している施設として、ネーミングライツの対象外にしている仙台市障害者福祉センター等については、利用者が限定的であり、また、施設愛称を付すことにより混乱を招く可能性があることから、ネーミングライツにはなじまない施設であると整理して、募集対象外としています。
7	今回、仙台市が進めている提案型施設命名権募集対象施設に仙台市福祉プラザがあげられ、優先交渉者が株式会社ユーメディア、施設名称案「ユーメディアダイバーシティスクエア」（略称:ユメスク）とされています。 しかし、仙台市は福祉サービス実施施設を命名権募集対象外としており、仙台市福祉プラザはまさに福祉サービスを実施提供する拠点であり、対象外とすべきと考えております。 また、福祉プラザの名称は、長年使用され浸透し定着しています。主な利用者の状況からしても、名称が変わることで混乱が起こることは十分予想されます。さらに命名権取得企業が変わるたびに施設名称の変更がされてしまっはさらなる混乱が予想されます。 当実行委員会としては、今まで「福祉プラザに来てね」といつてわかってくれていた知的障害の方に、再開されたとたん、「ユーメディアダイバーシティスクエアに来てね」と言って、わかってもらえるまでにどれだけの時間がかかるか想像していただければと思います。 トークネットホール仙台（仙台市民会館）、仙台銀行ホール イズミティ21（泉文化創造センター）、日立システムズホール仙台（青年文化センター）、カメイアリーナ（仙台市体育館）、弘進ゴム アスリートパーク仙台（仙台市陸上競技場）。命名権が行使された施設の（ ）付きが増え続け、一般の方にさえこれだけの（ ）が必要となっています。 障害のある方へはなおさら多くの説明が必要となります。 仙台国際センターと同様に名称の固定・定着が重要と考えております。 仮に命名権が行われ企業名を冠のついたとしても「福祉プラザ」の名称は残すべきと考えます。 つきましては、上記を踏まえ「仙台市福祉プラザ」を命名権に関し再考を求めるものです。	一方、仙台市福祉プラザは、「市民の世代を超えた交流及び相互理解を促進するとともに、民間社会福祉活動を支援することにより、市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会の実現を図ること」を、施設条例の第一条に掲げて設立した複合施設であり、また、コンサートを行えるホールなど、不特定多数の方が利用する市民利用施設でもあることから、ネーミングライツの対象といたしました。 ネーミングライツとは、条例上の名称を変更するものではなく、施設愛称の命名権を指すものでございます。 ネーミングライツの運用に当たっては、利用者の方々に混乱を来たさないよう、施設内の看板等に、新たな施設愛称とともに「仙台市福祉プラザ」等を併記することを優先交渉権者と協議するとともに、広報誌等の表記においては、新たな施設愛称が浸透するまで「仙台市福祉プラザ」をカッコ書きで併記するなどの対応をしてまいります。
8	2026年4月から「福祉プラザ」の名称を変更し、「ユーメディア ダイバーシティスクエア」名にネーミングライツされることへの要望を申し上げます。 これまで「福祉プラザ」で親しまれていることから、施設名に「福祉プラザ」の名前を残していただけますよう、お願い申し上げます。 市のホームページ「令和7年度提案型施設命名権の優先交渉権者を決定しました」を拝見しますと、他の施設には、元の施設名が残されています。福祉プラザも、同様に元の施設名を残したまま、命名されるようお願い申し上げます。	ネーミングライツとは、条例上の名称を変更するものではなく、愛称の命名権を指すものでございます。 ネーミングライツの運用に当たっては、利用者の方々に混乱を来たさないよう、施設内の看板等に、新たな施設愛称とともに「仙台市福祉プラザ」等を併記することを優先交渉権者と協議するとともに、広報誌等の表記においては、新たな施設愛称が浸透するまで「仙台市福祉プラザ」をカッコ書きで併記するなどの対応をしてまいります。
9	どんな名前になっても、「福祉プラザ」名は残して下さい。	
10	施設名称案などへの意見について、仙台市福祉プラザの名称については、「ユーメディア ダイバーシティスクエア（略称：ユメスク）」とされていますが、そこに通う障害を持つ人方々の混乱を招くことが懸念されます。 福祉プラザの名前はどこかに残していただいた方がよいのではないかと考えます。 ぜひご検討いただきますようお願いいたします。	